

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	M.K.	学部・学科	国際教養学部・国際教養学科
学 年	3 年	派遣国	台湾
派遣大学	國立政治大學		
期 間	2023 年 9 月 2 日～ 2024 年 6 月 30 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2 人部屋 / 3 人部屋 / その他 (4 人部屋)					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	◎
	キッチン		冷暖房	○	冷蔵庫	◎
滞在費	約 (10,347) 円 *1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (15) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	20,000 円	台湾では基本外食でした。
学用品購入費	400 円	教科書などの出費で、1 年間で約 4,000 円ほどでした。
交通費	3,400 円	バス、MRT、新幹線、タクシーなど
交際費	2,500 円	友人への手土産、誕生にプレゼント
その他	2,600 円	日用品
合計	28,900 円	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

治安は日本に近い程度と感じていて、夜遅い時間に女性一人で歩くことができる程度の治安の良さです。ただし、龍山寺周辺や台湾駅周辺はホームレスの方がいるなど、一人で歩いていると不安を感じる区域もあります。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(11) ヶ月間	保険料	(114,380) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 (台北)

龍山寺や中世記念堂、國父記念館、台北 101 など、有名な観光スポットが多く集まる都市です。國立政治大學はそんな台北の端に位置しており、MRT 文湖線の終点である「動物園」駅からバスで約 6 分、あるいは徒歩で約 20 分のところにあります。平地ですが道が狭いのでバスがおすすめです。大学から台北 101 周辺まではバスで 30 分ほどかかります。

留学生が申し込める大学の寮は国際生用の寮である iHouse と、キャンパス内の寮の 2 種類あります。私はキャンパス内の寮のひとつである自強九舎に滞在していました。寮は山の上にあり、山の下にあるキャンパスからは歩いて約 15 分かかります。学内シャトルバスを利用することもできます。

大学の周辺にはドリンクスタンドやご飯屋さんが立ち並んでいます。ただ、現地の人からは、國立大学周辺は「美食砂漠」と呼ばれているそうで、あまり評判はよくありませんが、私的にはドリンクスタンドも含め、おいしいお店がありました。郵便局や文具屋、Cosmed や watsons などの薬局もあり、生活に必要な物はそろっています。

【学業編】

1. 大学情報

大学	國立政治大學	所在地	台北、文山
最寄空港	松山機場(松山空港)	空港からの距離	15km
空港⇄大学	(MRT 文湖線「動物園」駅下車 、緑1 (G R 1) 政大下車) *移動手段		
学生数	約 16,000 人	留学生数	約 1,500 人
学部	文學院 ・ 中國文學系 ・ 歷史學系 ・ 哲學系 理學院 ・ 応用数学系 ・ 心理学系 社会科學學院 ・ 政治学系 ・ 社会学系 ・ 財政学系 ・ 公共行政学系 ・ 地政学系 ・ 経済学系 ・ 民族学系 法學院 ・ 法律学系 商學院 ・ 金融學系 ・ 国際経営興貿易学系 ・ 会計学系 ・ 企業管理学系 ・ 情報管理学系 ・ 財務管理学系 ・ 危機管理保険学系 外國語文學院 ・ 英國語文學系 ・ アラビア語學系 ・ 英語學系 ・ ヨーロッパ諸言語學系 ・ 日本語學系		

	・韓国語學系 ・スラブ諸言語學系 ・東南アジア諸言語學系 ・トルコ語學系 コミュニケーション學院 ・新聞學系 ・広告學系 ・テレビ、ラジオ學系 国際事務學院 ・外交學系 教育學院 ・教育學系 国際イノベーション学院（ICI） 情報學院 ・情報科學系 國際金融学院 （大学院を除く） *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。
学部/専攻	国際事務學院/外交學系 *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。

2. 週間スケジュール

① (9)月～(1)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前				● Foreign Policy of Japan	● Specialized Course I (GDG):Global Health Governance
午後		● Mandarin Course-Part-time Basic Mandarin	● Technoscience and Contemporary Society		

② (2)月～(6)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前				● International Relations in Northeast Asia	● International Organization
午後	● Versatile Diplomacy and Contemporary Foreign Policy		● Practical Mandarin1	● Happiness	● Specialized Course II (ASSD): Migration and Globalization

3. 履修内容

科目	専題一：全球衛生治理 (Specialized Course I (GDG): Global Health Governance)		
履修期間	9月～1月	単位数	3.0
授業内容／形態	Global health に関わる課題をいかに分析・解決するかを学ぶ授業。講師やゲストスピーカーによる、薬の供給や特許、健康にまつわるデータとプライバシー、健康ケア、医療制度、プライマリ・ケアといった、Global health governance にまつわる講義を受ける。		
成績	A+		
YCU 振替予定	科目	海外留学科目群	
	単位数	3	
	担当教員		

科目	日本外交政策 (Foreign Policy of Japan)		
履修期間	9月～1月	単位数	2.0
授業内容／形態	日本の外交の変遷について探求する授業。21世紀の時代にフォーカスし、経済連携協定(EPAs)の視点から考える。11月は講義中心の授業が展開された。		
成績	B		
YCU 振替予定	科目	海外留学科目群	
	単位数	3	
	担当教員		

科目	科技與當代社會 (Technoscience and Contemporary Society)		
履修期間	9月～1月	単位数	3.0
授業内容／形態	テクノロジーと社会の関係性について、動画を視聴したうえで行われるディスカッションを通じて考える授業。11月には Field Trip で國立臺灣博物館 南門館を訪れた。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	海外留学科目群	
	単位数	3	
	担当教員		

科目	華語-特別班基礎華語 (Mandarin Course-Part-time Basic Mandarin)		
履修期間	9月～1月	単位数	3.0
授業内容／形態	マンダリンの基礎クラス。マンダリン既修者のクラスで、基本の復習から勉強している。この授業では特に、話す力の向上に力を入れている。スマートフォンを用いたクイズ形式の内容などもあり、クラスメイトと楽しくマンダリンを勉強した。		
成績	A+		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Versatile Diplomacy and Contemporary Foreign Policy		
履修期間	2月～6月	単位数	3.0
授業内容／形態	多様化する国際社会における外交について、実践的な視点から着目する授業。外交政策や国際安全保障について学びながら、現代における大規模な外交について考える。先生の講義だけでなく、学生によるプレゼンテーションもあり、いい刺激を受けた。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	海外留学科目群	
	単位数	3	
	担当教員		

科目	Practical Mandarin1		
履修期間	2月～6月	単位数	3.0
授業内容／形態	華語の初級クラス。中間テストと期末テストがある。期末テストでは筆記試験に加え簡単な口頭試験もあった。フィールドワークでは猫空にある茶畑で台湾のお茶文化について学んだ。華語クラスのフィールドワークだが、先生による英語通訳があり、文化を学びつつマンダリンに触れることができた。		
成績	A+		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	International Relations in Northeast Asia		
履修期間	2 月～6 月	単位数	3.0
授業内容／形態	東北アジアの国際関係について学ぶ地域研究の授業。主に 1945 年から現在に至るまでの国際関係の変遷を学ぶ。そのうえで、中国、アメリカ、日本、ロシア、韓国、北朝鮮、台湾、モンゴルの 8 か国について政治的、経済的立ち位置について学ぶ。		
成績	B+		
YCU 振替予定	科目	海外留学科目群	
	単位数	3	
	担当教員		

科目	Happiness		
履修期間	2 月～6 月	単位数	3.0
授業内容／形態	「幸福」について、社会的あるいは心理的、哲学的、視点から学ぶ授業。Organization for Economic Cooperation and Development (OECD) と国際連合 (United Nations) の調査を基に、幸福と健康、幸福と経済的発展、幸福と家族社会あるいは社会コミュニティとの関連性に着目する。		
成績	A+		
YCU 振替予定	科目	海外留学科目群	
	単位数	3	
	担当教員		

科目	International Organization		
履修期間	2 月～6 月	単位数	3.0
授業内容／形態	国際組織について、セキュリティに関わる課題に着目して学ぶ。国際組織の背景に関する知識と政府間の協力関係に関する知識を身に着けることが目的のクラス。大学院生と一緒に学ぶ、ディスカッション中心のクラス。		
成績	B		
YCU 振替予定	科目	海外留学科目群	
	単位数	3	
	担当教員		

科目	Specialized Course II(ASSD): Migration and Globalization		
履修期間	2 月～6 月	単位数	3.0
授業内容／形態	移民について学ぶクラス。特に台湾における移民に注目する。ゲスト講師による授業やフィールドワークが多く、実際に足を運んだり、活動をしたりして学ぶ。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	海外留学科目群	
	単位数	3	
	担当教員		

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

留学生生活を通じて、第一に、挑戦することの楽しさと重要性を学びました。現地で生活する中でたくさんの人と関わり、学習において失敗を恐れすぎず一歩踏み出す勇気を持つことが成長につながるということを強く感じました。留学を通して外国語に堪能な学生と友人になりましたが、彼らに話を聞くと、その言語を使うことが大切だと口をそろえて言っていました。言語学習のみならず、挑戦力や行動力があるとより多くの世界を見ることができると実感しました。言語学習の場面のみならず、大学の講義で経験したグループワークでもそのチャレンジ精神は重要なものだったと感じています。私は英語力に自信がなくグループワークの場面でなかなか発言ができていませんでした。準備の段階で発言できなかった分、発表の場では自分の全力を尽くそうと意識したことで、チームでそのプロジェクトをやり切ることができたと感じています。不安をゼロにすることは難しいかもしれませんが、不安を感じながらも一歩踏み出す勇気をもつことはとても重要だと実感しました。

第二に、出会いをきっかけに台湾の歴史に興味を持つようになりました。台湾在住の知り合いの友人で、台湾大学に通っている大学 3 年生の日本人学生を紹介してもらい、彼女の活動に同行したのをきっかけに「日本時代」について知りました。その学生は、台湾で「日本時代」を生きた方々に話を聞いたり、日本時代について学ぶイベントを開催したりしています。彼女のヒアリングに同行し、「日本時代」を生きた林さんにお話を聞くという貴重な経験をしました。林さんは、幼少期に日本時代を経験しており、台湾語と日本語を話します。台湾と日本の関係性についてほとんど無知であった私は、なぜ林さんが「北京語」を毛嫌いののか、日本統治時代を生きていた中で日本に対して故郷のような感覚を抱くようになったのか、などたくさんの疑問が浮かんでいました。それらの問いは簡単にわかるものではありませんでしたが、林さんとの出会いをきっかけに台湾と日本に歴史について学びたいと思うようになりました。それをきっかけに、「日本時代」にまつわる講演会に参加したり、自身で調べてみると、これまで興味のなかった分野について留学中に学ぶことができました。留学を終えた今後も、この 1 年間で得たつながりは大切にしていきたいです。

第三に、離れていても学びあえる友人に出会えたことは、留学中のみならず、今後の人生における貴重な財産となりました。現地の日本語学科に所属しているマレーシア人の華人の友人とは、今でも定期的にオンラインで言語交換を行っています。また、交換留学仲間として約 1 年間切磋琢磨してきた友人とは、帰国後にも会って話をしており、大学生活や就職活動などについて相談しあえる貴重な存在となっています。はじめは、留学において日本人の知り合いは不要と考えていましたが、留学中にも帰国後にもいい刺激を与えてくれる存在であり、この出会いを今後も大切にしていきたいと考えています。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

今後、この留学経験を大学生活および課外活動の場面で活かしていきたいと考えています。留学生活を通じて学んだ挑戦することの重要性は、大学でのグループワークやゼミ活動をより活発にするために活かすことのできる気づきだと考えています。これまでは、自信がなく新たなアイデアを提案したり、話し合いの中で積極的に発言したりすることに苦手意識を持っていましたが、今後はまずは声に出して実践し、仲間を巻き込みながらワークに取り組むよう意識しようと考えています。

また、多文化・多言語・多民族の多様性にあふれた社会での生活経験を活かし、「多文化社会」の実現と課題にまつわる研究をしたいと考えています。留学前から「多文化共生」分野に関心があり、多文化社会を実際に体験することもこの留学の目的の 1 つでした。実際に、台湾では日本に比べて英語やその他の言語に対応している場所が多くあるように感じました。さらに、移民の多い台湾には ASEAN Square のような異なる国や地域の人々が集まる場所が充実している点でも多くのことを学ぶことができたと感じています。滞在中に見て、感じてきたことを活かし、今後の研究活動に取り組みます。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

これから留学をする皆様には、ぜひその国の歴史や日本とのつながりについて、事前に知っていてほしいと思います。もちろん、現地で生活する中で歴史や日本とのつながりに興味を持つというのも一つの経験となりますが、少しでも知識があると、早い段階から渡航先での学びや観光がより実りあるものになります。歴史に限らず、現代社会における経済的あるいは政治的つながりについて勉強してみるのも面白いかもしれません。ご自身がジブングトとして考えることができる何かをもっていると、留学生活がより充実したものになると考えます。

また、留学中はたくさんのことに進んでチャレンジしてみしてほしいです。たった 1 年間しかない貴重な交換留学の時間で誰よりも成長するには、好き嫌いせずに挑戦する力がカギになると思います。興味のない分野だとしても、一度もやる前に避けてしまうのはもったいないと感じました。「外国人」でいられる特権を適度に行使して、物事に貪欲に挑戦すると新たな世界を見ることができると思います。

知らない地で、頼ることのできる家族もいない状況で生活することは楽しいことばかりではないかもしれません。しかし、きっと皆さんも成長したい、あるいは新しい何かに出会いたいと思って留学にチャレンジしていると思います。ぜひ失敗すら楽しむという気概で臨んでみてください。